

県建設業青年部会
経営技術研修会

地域の不可欠な産業に

県建設業青年部会（米盛直樹会長）は4日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで第23回経営技術研修会を実施。会員ら約150人が参加し、冒頭、米盛会長が「近年、自然災害が多発しています。自然災害が多発しているが、これらにどう対応していくかが、建設業に求められています。建設業は、地域に不可欠な産業として認められ、地域に貢献していくことが求められています」と挨拶。



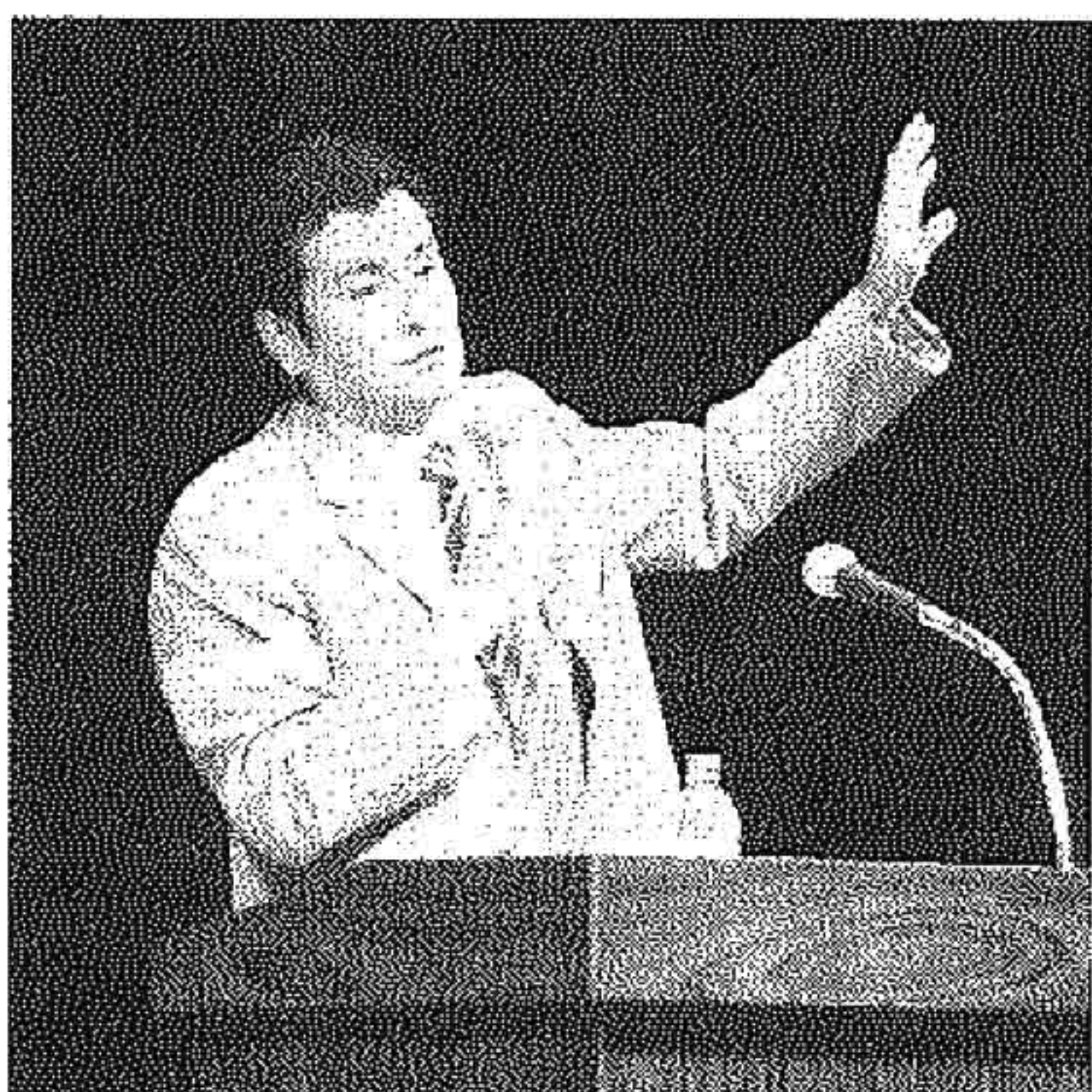
大分県宇目町観光大使の矢野大和氏による「笑って元氣！明るい職場」と題した講演会を行った。冒頭、米盛会長が「近年、自然災害が多発しています。自然災害が多発しているが、これらにどう対応していくかが、建設業に求められています。建設業は、地域に不可欠な産業として認められ、地域に貢献していくことが求められています」と挨拶。

森林環境シンポジウム2005

環境保護の認識新た

森林環境税創設記念・森林環境シンポジウム2005は4日、鹿児島市の県文化センターで開か

れ、市民ら約850人が参加し森林環境を通して地球環境保護の認識を新たにしました。



冒頭、伊藤知事は「森林環境税は、森林の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識醸成に関する施策に要する財源確保することを目的としている。同シンポジウムで、地球環境保護の認識を新たにしてください」と挨拶。

その後、石原良純さん（俳優・気象予報士）が「空を見よう」と題して記念講演を行った。その中で石原さんは「最近、異常気象で台風や大雨などの自然災害が頻発している。鹿児島県のように森林環境税は地球環境のための税制で、誇りを持ってよいのではないだろうか。また、1日に1回は空を

おもしろおかしく講話。このうち、必要とされる喜びのお話で、社会から

必要とされる人とはどうゆうことなのか「ものを頼みやすい人、相手のいいところを誉めめる人」であること話し、自分がしっかりとした自信を持つことで周りから頼りにされる人として認められるなど話した。

国道226号・270号整備促進協議会

関係団体と連携強化を

国道226号・270号整備促進協議会（上東信義会長）は1日、加世田市の商工会議所で17年度通常総会を開き、調査

は、今後の南薩地域のアクセス網の充実を図るためには必要不可欠な路線。今後関係団体との連携強化を図っていききたい」と挨拶。定款のつとめて、上東会長を議長に選出して議事に入り、16年度事業報告並びに収支決算監査報告と、17年度事業計画案並びに収支予算案について審議。いずれも執行部原案通り可決承認した。



現状調査を視察する会員。加世田市の現地で、同協議会の幹事長を務める本坊輝雄県議が「地方の活性化を図るためには、社会資本整備の促進は必要不可欠。将来の方向性をしっかりと位置付け、地域にとって欠かせないインフラの早期充実に向けて一致団結して取り組んでいこう」と力強く締めくくった。

安心システムで21世紀の響生を追求する
南栄技研
鹿児島市 中山町1406-1 (099) 260-6100
鹿児島市 西原町118-10 (099) 43-2972
鹿児島市 高城町1688 (099) 27-1996
鹿児島市 東原3172-6 (099) 40-9360
鹿児島市 高岡町大字花見山1720-18 (0985) 30-9680
鹿児島市 八幡町1351-1 (0985) 35-4878
鹿児島市 大田町7411 (0986) 38-6120
鹿児島市 門川町大字加草字深迫616-1 (0982) 63-5458
鹿児島市 本町12074 (096) 273-3666

本城小で技能体験教室

児童達と交流図る

鹿児島市認定職業能力開発連絡協議会（森山清隆会長）は2日、鹿児島市本城町の市立本城小学校で技能体験教室を実施。同校の5、6年生8人が参加し、お気に入りフォトスタンドの制作指導を通じて児童達との交流を図った。

で、ものづくりのすばらしさを体験してもらうとともに、小学校生活の思い出として、すばらしい作品を作ってもらいたい」と挨拶。

技能五輪全国大会受賞報告

西須さんが銅賞

第43回技能五輪全国大会（山口県、10月28日から31日まで）の入賞者2人が2日、鹿児島県庁を訪れ、平石憲雄労働政策課長らに受賞報告を行った。

同大会は、全国47都道府県から1094人が参加。8会場で実施された競技会に本県からは10人が出場した。このうち、

各県の代表16人が出場した。西須さんは、今回の入賞について「学校では、全体の流れをつかむ練習を主体に、脚部をはじめ各種接ぎ手の練習など本番を想定した練習を続けました。今大会で賞をいただくだけでも、思ってもみなかったもので、本当にうれしかったです。今回の経験を無駄にしないように、これからも訓練に励みたい」と喜びを語った。

熱心に取り組む児童。鹿児島市本城小学校で、



住宅月間で国交大臣表彰を受賞した 児玉 豊人氏

受賞にあたって、児玉氏は「設計に携わる人間として大きな荣誉で非常に光栄に思いま

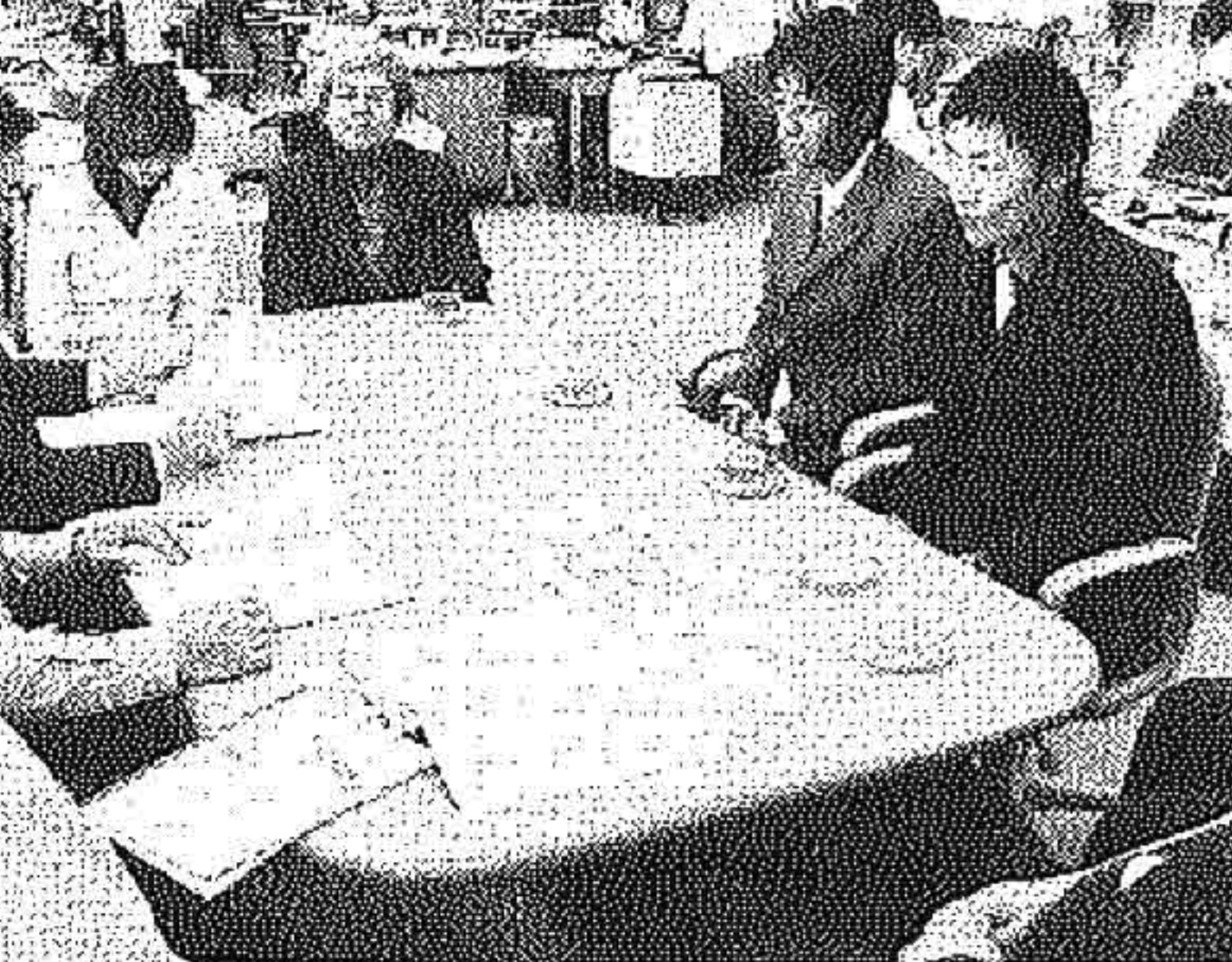


す。これまでの業務の積み重ねが評価されたものであり、お世話になった方々に心から感謝します」と謙虚に語

昭和42年、鹿児島大学工学部建築学科を卒業後、日産建設（株）福岡支店の勤務を経て、昭和47年10月に永園設計（株）に入社。多くの建築設計・工事監理に携わり、昭和51年8月一級建築士事務所K設計を設立し現在に至る。また、昭和60年に県建築士事務所協会の理事に就任して以来、平成7年から副会長として建築文化の振興・協会の地位向上

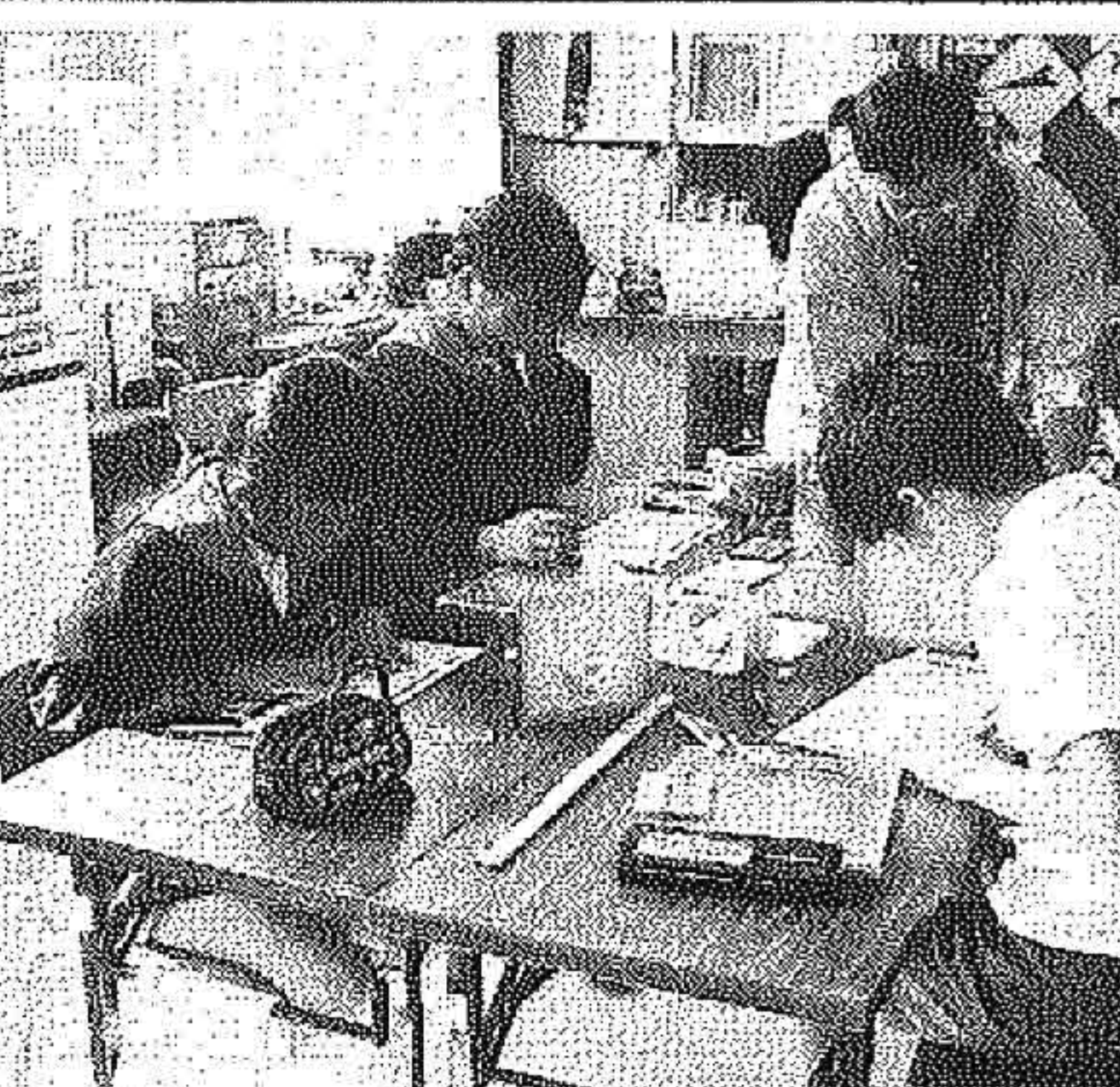


西須裕紀さん



受賞の報告をする入賞者＝県庁で

熱心に取り組む児童。鹿児島市本城小学校で、



熱心に取り組む児童。鹿児島市本城小学校で、